



香港株式市場フラッシュ

バリュー銘柄として長江実業集団と中国中信に注目

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

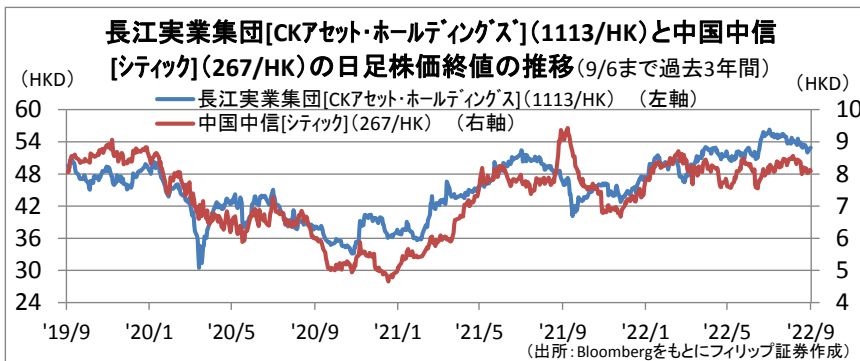
2022年9月7日号(9月7日作成)

“長江実業集団と中国中信は低ベータ値のバリュー銘柄”

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(5日より3銘柄増えて92銘柄)において6日終値で昨年未来の騰落率が上位10銘柄の内、相対的に株価変動性が小さいバリュー銘柄として、**長江実業集団[CKアセット・ホールディングス](1113/HK)**と**中国中信[シティック](267/HK)**の2銘柄が挙げられる。Bloombergによれば、ハンセン指数に対する6日時点のベータ値(市場全体が増減したときに個々の資産がどのように動くかを示す尺度)で見ると、長江実業集団が0.61、中国中信が0.75と、1より小さいことから指数の変化に対する感応度が低く、低リスクであることが示されている。

長江実業集団は、中国・香港を本拠とする香港最大の企業グループである長江実業グループにおける不動産・公共会社であり、香港・中国本土・海外での不動産開発・投資やREIT投資、ホテル経営を手掛ける。英CK Williamなど合弁会社を通じて欧米豪などでインフラ・公共事業も展開。2022年1-6月期は、営業収益が前年同期比54%増の357.15億HKD、純利益が同54%増の130.77億HKDと堅調に推移している。足元では、予想株価収益率(PER)が8.67倍、株価純資産倍率(PBR)が0.54倍、配当利回りが4.00%とバリュー銘柄としての本領を発揮。同社は、経営再建中の中国恒大集団が香港本部ビルにある中国恒大中心を売りに出した際に入札に参加しており、動向が注目される。

中国中信は、国務院直属の中国中信集団(CITIC)の傘下で中国政府系の投資持ち株会社。2014年にCITICからの資産注入を受けて金融、製造、先進素材、不動産、自動車、食品含む消費など広範な事業部門を擁する中国最大級のコングロマリットに転身した。第2位株主で20%を保有する正大光明投資は伊藤忠商事とタイ財閥チャロン・ポカパン(CP)グループの合弁会社。2022年1-6月期は、営業収益が前年同期比12.8%増の5125.89億HKD、純利益が同13.3%増の500.51億HKD。足元では予想株価収益率(PER)が3.04倍、株価純資産倍率(PBR)が0.31倍、配当利回りが8.25%と、割安バリュー銘柄として今後注目度が高まると期待されよう。



長江実業集団[CKアセット・ホールディングス](1113/HK)の半期ごと業績推移

項目	2019年 下半年	2020年 上半期	2020年 下半年	2021年 上半期	2021年 下半年	2022年 上半期
売上高成長率(前年同期比)(%)	65.4	9	-48.9	-20.5	33.3	53.5
純利益成長率(前年同期比)(%)	-8.8	-56.2	-25.2	27.8	24.3	54.4
配当利回り(%)	3.73	4.16	4.52	3.49	4.48	4.00
株価収益率(PER)(倍)	7.13	8.38	9.05	11.01	8.75	8.67
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.60	0.50	0.41	0.56	0.48	0.54

中国中信[シティック](267/HK)の半期ごと業績推移

項目	2019年 下半年	2020年 上半期	2020年 下半年	2021年 上半期	2021年 下半年	2022年 上半期
売上高成長率(前年同期比)(%)	5.6	-4.9	0.9	31.1	19.7	12.8
純利益成長率(前年同期比)(%)	2.8	-19.4	45.3	63.5	-12.0	13.3
配当利回り(%)	4.46	5.29	8.89	6.43	7.87	8.25
株価収益率(PER)(倍)	5.63	4.46	2.82	3.30	3.19	3.04
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.51	0.35	0.34	0.34	0.30	0.31

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全92銘柄)における終値の2021年末来騰落率

順位	2021年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前順位
1	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	60.7	1
2	中国海洋石油 [CNOOC]	34.8	2
3	中国海外発展 [チャイナ・オーバーシーズ・ランド&インベスト]	23.7	13
4	中国移动 [チャイナモバイル]	16.8	4
5	長江実業集団[CKアセット・ホールディングス]	12.2	6
6	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	11.5	21
7	中国中信[シティック]	10.9	7
8	中国石油化工 [シノベック]	10.9	10
9	万洲国際[WHグループ]	9.8	8
10	HSBCホールディングス	8.6	14

順位	2021年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前順位
92	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-67.3	91
91	舜宇光学科技(集団) [サニー・オプティカル・テクノロジー]	-65.6	92
90	SenseTime Group Inc (商湯集団)	-65.2	87
89	申洲国際集団控股 [シェンジョウ・インターナショナルG]	-65.2	90
88	ピリビリ	-58.2	88
87	華虹半導体 [ファホン・セミコンダクター]	-57.8	89
86	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-51.5	84
85	中升控股 [フォンサン・グループ・ホールディングス]	-48.7	86
84	金蝶国際軟件集団 [キングディー・ソフトウェア]	-47.8	85
83	小米集団 [シャオミ]	-47.2	83

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2022年8-9月の中国主要経済指標】

- 8月27日(土)
 - ・1-7月工業利益<前年同期比>: 前回+1.0%、結果▲1.1%
- 8月31日(水)
 - ・8月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0、結果49.4
 - ・8月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回53.8、結果52.6
- 9月1日(木)
 - ・8月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.4、結果49.5
- 9月5日(月)
 - ・8月(財新)サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回55.5、結果55.0
- 9月7日(水)
 - ・8月外貨準備高: 前回3.104兆USD、
 - ・8月貿易収支: 前回+1012.6億USD、結果+793.9億USD
 - ・8月輸出<前年同月比>: 前回+18.0%、結果+7.1%
 - ・8月輸入<前年同月比>: 前回+2.3%、結果+0.3%
- 9月9日(金)
 - ・8月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+2.7%
 - ・8月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回+4.2%
- 9月9日(金)~15日(木)
 - ・8月資金調達総額: 前回7,561億元
 - ・8月新規人民元建て融資: 前回6,790億元
 - ・8月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+12.0%
- 9月16日(金)
 - ・8月小売売上高<前年同月比>: 前回+2.7%
 - ・8月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+3.8%
 - ・1-8月固定資産投資<前年同月比>: 前回+5.7%
 - ・1-8月不動産投資<前年同月比>: 前回▲6.4%
 - ・8月住宅販売金額<前年同月比>: 前回▲31.4%
 - ・8月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.11%
- 9月20日(火)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.65%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.30%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。